

愛知県環境局の令和2年度主要事業等について

令和2年2月
あいち環境づくり推進協議会

あいち地球温暖化防止戦略2030を推進します

予算額 192,192千円

環境局地球温暖化対策課
調整・企画グループ、温暖化対策グループ
内線 3032・3055
(ダイヤル)052-954-6213

「愛知県地球温暖化対策推進条例」の下で、「あいち地球温暖化防止戦略2030」の目標である2030年度における温室効果ガス排出量の26%削減(2013年度比)の実現に向け、一層の地球温暖化対策を推進します。

1 あいち地球温暖化防止戦略推進費 33,130千円

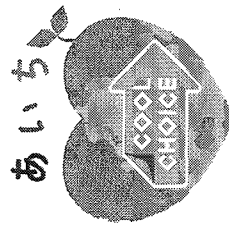
温室効果ガスの排出を抑制する「緩和策」及び気候変動による影響に対処する「適応策」の取組を支援します。

- ・地球温暖化対策計画書制度に基づく、事業者の対策に対する現地調査・助言
- ・中小事業者等に対する省エネ相談などの総合的支援
- ・市町村の地球温暖化対策に係る実行計画の策定支援
- ・再生可能エネルギーの地産地消に向けた課題や対応策等の整理・情報発信(新規)
- ・気候変動の影響や適応に関する情報の収集・発信、先進技術等の紹介

2 温暖化防止県民運動推進事業費 12,953千円

低炭素型の生活様式への転換を促す「あいちクールチョイス」県民運動を市町村等と一体となって拡大します。

- ・小学生が家族とともにエコライフの実践に取り組む「我が家の夏休み!エコアップ大作戦」の実施(新規)
- ・あいちクール&ウォームシェアの実施
- ・省エネ家電への買換促進



あいちこく選んで、地球よるこよ

3 住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金 140,000千円

環境に配慮した住宅(スマートハウス、ZEH[※])の普及を図るため、太陽光発電、HEMS(家庭用エネルギー管理システム)などの一体的導入等に対して、市町村との協調により補助を行います。

※ZEH:外皮(外壁、窓等)の断熱性能等向上と高効率設備システムの導入により年間の消費エネルギー量が正味で概ねゼロとなる住宅

4 低炭素素サプライチェーン事業化推進費 6,109千円

再生可能エネルギーを活用した「低炭素素サプライチェーン」の事業化を推進し、一層の広域化を図ります。

- ・「あいち低炭素素サプライチェーン推進会議」による推進策の検討、事業化の支援
- ・「低炭素素認証制度」の運用、認定事業者の取組発信
- ・低炭素素の意義や重要性を発信するシンポジウムや視察会の開催(新規)

次世代自動車の普及に向けて あいち自動車環境戦略2020を推進します

環境局地球温暖化対策課
自動車環境グループ
内線 3037・3091
(ダイヤル)052-954-6217

予算額 322,098千円

電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）及び燃料電池自動車（FCV）を始めとする次世代自動車の普及を促進するため、「あいち自動車環境戦略2020」に基づく取組を推進します。

1 戦略推進費

688千円

「あいち自動車環境戦略2020」に基づき、大気環境基準を確保するため、EV、PHV及びFCVを始めとする次世代自動車の普及促進に向けた啓発事業等を進めます。

2 次世代自動車普及促進事業費

14,200千円

「あいちEV・PHV普及ネットワーク」（設立：2009年4月 構成員：自動車メーカー等92団体）の参加者と協働して、EV・PHVの普及に取り組みとともに、「愛知県次世代自動車充電インフラ整備・配置計画」に基づく整備を促進します。

また、EV、PHV及びFCVの一層の普及に向けた目標や取組等を明らかにするプランの策定や、フォーラムの開催により、運輸部門における低炭素化の気運醸成を図ります。

3 先進環境対応公用車導入費

63,496千円

最新型のFCVを始め、環境性能に優れた自動車を公用車に導入します。

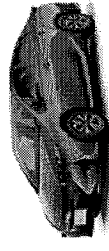
4 先進環境対応自動車導入促進費補助金

243,714千円

旅客・貨物運送事業者や中小企業等の事業者に対し、EV、PHV、FCV、ハイブリッド自動車（HV）のユニバーサルデザインタクシー等の次世代自動車を導入する経費の一部を補助します。



電気自動車（EV）



プラグインハイブリッド自動車（PHV）



燃料電池自動車（FCV）

生物多様性保全に関する取組を一層推進します

予算額 112,423千円

環境局 環境政策課
自然環境グループ
調整・施設・自然公園グループ
内線 3060・3061
(ダイヤル)052-954-6227

「愛知目標」の目標年2020年を迎え、COP10開催地として取り組んできた本県の先進的な取組の成果を国内外へ発信するとともに、これまでの成果と課題を踏まえて2021年以降の新戦略を策定し、生物多様性保全の取組を一層活性化します。また、個体数の増加が著しく、生態系に影響を及ぼしているニホンジカについて、鳥獣管理対策を強化します。

1 あいち生物多様性戦略の推進

- 2020年の1年を通じて「つながる ひろがる 生物多様性の輪」をキャッチフレーズに、生物多様性バーストプラクティス(先進事例)の選定・発信や連携イベントを展開し、地域全体の気運の盛り上げを図ります。
- 「愛知県SDGs 未来都市計画」(2019年8月策定)に基づく先導的取組として、大学生等のユース世代を核に多様な世代の対話・交流を促す多世代フォーラムを開催するなど、生物多様性保全の担い手を育成します。
- 生態系ネットワークの形成など、本県のこれまでの取組成果と課題を検証し、2030年に向けたSDGsの理念を踏まえた生物多様性保全の新たな戦略を策定します。



あいち・なごや生物多様性 2020 ロゴマーク

2 愛知目標の達成に向けた国際連携の推進

- 次期世界目標が採択されるCOP15(2020年10月、中国・昆明)及びその準備会等に参加し、次期世界目標において自治体結果たすべき役割の重要性を発信します。
- 本県と環境分野に係る協定等を結んでいる中国・江蘇省、韓国・江原道、ブラジル・サンパウロ州との連携により、生物多様性保全の取組を学び合う学生交流プログラムを実施し、次代の担い手を育成します。

3 鳥獣管理対策の強化

- 生息域が拡大しているニホンジカについて、指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画に基づき、集中的かつ広域的な捕獲を行います。

あいち・なごや生物多様性 ベストプラクティス 大募集!

募集の締切

2020年
3月16日月

愛知目標達成に向けた生物多様性の保全や持続可能な利用に関する取組を総括し、さらなる取組の促進につなげるため、COP10以降に愛知県内で行われた取組事例を募集し、優れたものについて顕彰・奨励します。

対象となる取組

次のいずれかに該当する取組事例のうち、愛知県内において2011年以降に行われたもの(2011年以前から継続して行われているものを含む。)を対象とします。

① 生物多様性の保全

森林、水辺等の生態系保全、野生生物の保護、外来種対策など、生物多様性の保全に関する取組。

② 生物多様性の持続可能な利用

食料・資材、サービス、景観等の生物多様性の恵みについて、その持続可能な利用に貢献する取組。

③ その他の取組

普及啓発、学習、教育等、その他の生物多様性に関する取組。

応募資格

日本国内に拠点がある組織、団体であること。複数の団体等による共同の応募や、1団体から複数の取組事例の応募も可能です。

賞の種類

👑 ベストプラクティス 〈グッドプラクティスの中から10件程度〉

👑 グッドプラクティス 〈100件程度〉

※受賞事例を愛知県・名古屋市の広報媒体に掲載します。

実施スケジュール

2020年3月16日(月)：募集締め切り

2020年4月～5月：選定委員会による審査、受賞事例の公表

応募用紙

(イメージ)

【別記様式】

あいち・なごや生物多様性ベストプラクティス 応募用紙

申請代表者 (住所) 〒
(団体名)
(代表者役職・氏名)

次のとおり、あいち・なごや生物多様性ベストプラクティスに応募します。

取組名称							
取組分野	<input type="checkbox"/> 生物多様性の保全 <input type="checkbox"/> 生物多様性の持続可能な利用 <input type="checkbox"/> その他(教育・啓発等)						
取組キーワード (5つまで)	<input type="checkbox"/> 森林 <input type="checkbox"/> 里山 <input type="checkbox"/> 河川 <input type="checkbox"/> 湖沼 <input type="checkbox"/> 湿地 <input type="checkbox"/> 海岸 <input type="checkbox"/> 公園 <input type="checkbox"/> 農地 <input type="checkbox"/> 野生生物の保護 <input type="checkbox"/> 外来種対策 <input type="checkbox"/> ふれあい活動の場の整備 <input type="checkbox"/> 生物多様性に配慮した製品 <input type="checkbox"/> 地産地消 <input type="checkbox"/> 環境教育・普及啓発 <input type="checkbox"/> 地域貢献 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他()						
背景・経緯							
目的							
取組内容	<具体的な取組実績・成果> <small>※取組内容は出来る限り詳細に記入ください。また、参考資料があれば添付してください。</small>						
	取組期間	～	年	年	年間活動日数 [※]	年間参加者数 [※]	一般参加の有無
	活動場所						
	連携先						
	専門家の関与	(調書・誌・報)					
	受賞歴						
今後の展望							
取組のウェブサイト							
団体情報	<input type="checkbox"/> 市民団体、NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> その他						
	ウェブサイト:						
	氏名:		電話:				
	E-mail:						

※ 年間活動日数、年間参加者数の欄は、記入できる場合は記載する。
※ 取組がわかるような写真を添付してください。(1～10枚)

※愛知県・名古屋市のウェブサイトからダウンロードしてお使いください。

応募方法・提出先

応募用紙(左記様式)に必要事項を記入し、取組の様子が分かる写真を添付の上、メール又は郵送により提出して頂いたのち、電話連絡をお願いします(2020年3月16日必着。)

■主に愛知県内 (名古屋市以外の地域)での取組

愛知県環境局環境政策部自然環境課
 メール: shizen@pref.aichi.lg.jp
 郵送先: 〒460-8501 (住所記載不要)
 電話: 052-954-6475 (ダイヤルイン)

■主に名古屋市内での取組

名古屋市環境局環境企画課
 メール: a2662-01@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp
 郵送先: 〒460-8508 名古屋市中区
 三の丸三丁目1番1号
 電話: 052-972-2698

選定のポイント

次の選定ポイントを参考にしながら総合的に評価を行い、選定委員会において受賞事例を選定します。なお、選定に当たり、追加資料の提出等をお願いすることがあります。

〈選定ポイント〉

- ①事業の趣旨
- ②波及効果
- ③創造性
- ④地域性
- ⑤継続性・発展性
- ⑥規模
- ⑦連携
- ⑧専門性
- ⑨実績

○詳細は愛知県、名古屋市のウェブサイトで募集要項をご確認ください。

あいち・なごや生物多様性ベストプラクティス

検索

連携事業 大募集!

随時募集中

最終受付

2020年
12月10日(木)まで

2020年は生物多様性の世界目標である「愛知目標」の目標年であり、「国連生物多様性の10年」の最終年です。愛知県内においてNPO・企業・学校・行政等が実施する生物多様性に係る事業・イベントを「あいち・なごや生物多様性2020連携事業」として登録し、地域全体の生物多様性保全に関する気運を盛り上げます。

対象となる事業

連携事業は次の要件を満たすものを対象とします。

- 1 2020年1月1日から2020年12月31日の間に愛知県内で実施する生物多様性に関する事業・イベントであること
- 2 次のいずれにも該当しないこと
ア 営利を目的とする事業であると認められるもの
イ 政治活動又は宗教活動であると認められるもの
ウ 暴力団体若しくは暴力団員等の統制下にある団体が実施するもの
エ 一般の人に公開されないもの
オ その他適当でないと認められるもの

連携内容

- 1 連携事業については愛知県または名古屋市のウェブサイト等でPRします。
- 2 連携事業において「あいち・なごや生物多様性2020連携事業」、「あいち・なごや生物多様性2020連携イベント」、「あいち生物多様性2020連携事業」、「あいち生物多様性2020連携イベント」のいずれかの名称を使用することができます。
- 3 連携事業において「あいち・なごや生物多様性2020ロゴマーク」を使用することができます。
- 4 イベントの参加者に対して連携事業の趣旨が伝わるよう努めていただきます。



申請手続き等

- 1 提出様式
あいち・なごや生物多様性2020 連携事業申請書（裏面）
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/expo2020-partner.html> に電子ファイルがあります。)
- 2 提出方法
メールまたは郵送で提出してください。

提出・問合せ先

■愛知県内(名古屋市を除く)において実施されるイベントの場合

愛知県環境局環境政策部自然環境課
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話：052-954-6475
メール：shizen@pref.aichi.lg.jp

■名古屋市において実施されるイベントの場合

名古屋市環境局環境企画課
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話：052-972-2698
メール：a2662-01@kankyokyouku.city.nagoya.lg.jp

決定の連絡

愛知県及び名古屋市にて申請内容を審査し、要件を満たした事業については連携事業として登録決定し、ご連絡いたします。

あいち・なごや生物多様性2020連携事業申請書

申請代表者（住 所）〒

（団体名）

（氏 名）

次のとおり、あいち・なごや生物多様性2020連携事業としての登録を申請します。

事業名			
開催日時	2020年 月 日() ~ 2020年 月 日() 時 分 ~ 時 分 (24時間制でご記入ください)		
開催場所	(施設名)		
	(所在地)		
事業内容	<p>※事業内容はなるべく詳細に記入ください。 また参考資料があれば添付してください。</p>		
対象者		参加人数(想定)	
参加費等	有料〔 円〕 ・ 無料		
主催者			
問合せ先	電話：	E-mail：	
対象事業のホームページアドレス			
共催・後援等			
ロゴマークの使用 ※該当するものに○	チラシ・パンフレット・ポスター・WEBサイト・看板・その他()		
担当者連絡先	住所：		
	氏名：		
	電話：		
	E-mail：		

○詳細は愛知県、名古屋市のウェブサイトでご確認ください。

あいち・なごや生物多様性2020連携事業

検索



循環型社会の形成に向けた取組を推進します

予算額 614,608千円

と り ま と め
環境局資源循環推進課
循環グループ・一般廃棄物グループ
内線 3074・3076
(ダイヤル)052-954-6233

「あいち地域循環圏形成プラン」に基づき、新たな広域循環モデルの具体化を図るとともに、プラスチックの資源循環・適正処理体制の構築に向けた取組を実施します。

また、食品ロスの削減や災害廃棄物の処理対策、さらに合併処理浄化槽への転換を促進します。

1 循環型社会形成の推進 481,250千円

○ あいち地域循環圏形成プランの推進

新たな循環ビジネスの発掘、事業化から円滑な事業継続までを一貫して支援します。

- ・学識経験者や事業者、市町村等で構成する「地域循環圏づくり推進チーム」による新たな広域循環モデルの具体化検討

- ・循環ビジネス事業化検討や、先導的で効果的なりサイクル施設等整備に対する補助

○ プラスチック資源循環・適正処理対策の強化

海洋プラスチックごみや使用済みプラスチック対策を推進します。

- ・廃プラスチック処理施設整備に対する支援の強化
- ・プラスチックの処理実態、代替品や先進技術等の調査（新規）
- ・海洋ごみを回収・処理する市町村等への助成

2 食品ロス削減対策 19,365千円

事業者や消費者による食品ロス発生抑制の取組を促進します。

- ・事業系食品ロス量の調査・推計
- ・事業者等を対象としたセミナーや相談会等の実施
- ・家庭向け普及啓発プログラムの実施

3 災害廃棄物処理計画の改定 11,559千円

豪雨や台風による災害廃棄物対策のため、県内市町村における仮置場の確保の状況や全国における災害廃棄物の対応状況など、現行計画の見直しに向けた調査を行います。

4 合併処理浄化槽への転換促進 102,434千円

浄化槽設置費補助金により、単独処理浄化槽及び汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を促進します。

あいちプラスチックごみゼロ宣言

～捨てない・減らそう・変(替)えよう! アクションプラごみゼロ!～

愛知県は、大都市圏でありながら、伊勢湾、三河湾、遠州灘に囲まれ、スナメリが回遊し、ウミガメが産卵するなど、自然豊かな海に恵まれています。

その一方で、世界的なモノづくりの拠点でもあり、プラスチック製品の出荷額が全国1位であるなど、プラスチックの製造や利用に深いかかわりを持っています。

プラスチック製品は、非常に便利で、わたしたちの生活を様々な面で支えています。が、ひとたび、ポイ捨てなどによりごみとなり、川を通じて海に流れ出ると、海岸の景観を悪化させるだけでなく、海洋生物に悪影響を与え、漁業の妨げになるなど、様々な問題を引き起こすおそれがあります。

また、紫外線や波などによって細かく砕けた、いわゆるマイクロプラスチックには、海の中で有害物質が付着すると言われており、それを誤って食べた魚を人が食べることによる健康への影響が心配されています。

閉鎖性水域である伊勢湾や三河湾では、川などから流れ込んだプラスチックごみが滞留しやすく、ごみの回収とあわせて、「ポイ捨ての防止」(捨てない!)、「3Rプラス1(リデュース、リユース、リサイクル+リフューズ)の徹底」(減らそう!)、「プラスチック代替製品の提供や利用」(変(替)えよう!)など、地域をあげた取組が重要です。

わたしたちは、愛知の環境を守り、豊かな海を未来の子どもたちに引き継ぐため、プラスチックごみゼロに向けて、消費者、事業者、行政が一体となって行動していくことをここに宣言します。

2020年1月25日

ごみゼロ社会推進あいち県民会議
会長 愛知県知事 大村 秀章



愛知県は「SDGs未来都市」として、SDGsの取組を推進しています。

<ごみゼロ社会推進あいち県民会議会員一覧>

(社福)愛知県母子寡婦福祉連合会、(公財)愛知県老人クラブ連合会、愛知消費者協会、(一社)愛知ビルメンテナンス協会、エコデザイン市民社会フォーラム、ガラスびん3R促進協議会、(公財)古紙再生促進センター中部地区委員会、(公社)食品容器環境美化協会愛知地方連絡会議、愛知県再生繊維協同組合、中部場商連合会、中部リサイクル運動市民の会、東海硝子原料問屋組合、名古屋再生資源協同組合、日本自動車販売協会東海支部、(公社)日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会、愛知県女性団体連盟、(一社)全国スーパーマーケット協会東海地区連合会、愛知県生活学校運動推進協議会、愛知県生活協同組合連合会、愛知県地域婦人団体連絡協議会、愛知県中小企業団体中央会、愛知県農業協同組合中央会、愛知県婦人消防クラブ連絡協議会、愛知県プラスチックリサイクル協同組合、愛知県衛生事業協同組合、(公社)愛知県看護協会、愛知県小売酒販組合連合会、愛知県公立高等学校PTA連合会、愛知県古紙協同組合、愛知県再生資源団体連合会、愛知県自転車モーター商協同組合、愛知県酒造組合、愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、愛知県商店街振興組合連合会、日本チェーンストア協会中部支部、(一社)日本鉄リサイクル工業会中部支部、(一社)持続可能社会推進コンサルタント協会、(一社)日本フランチャイズチェーン協会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、発泡スチレンシート工業会、(一社)愛知県産業廃棄物協会、愛知食品産業振興協会、(一社)愛知県薬剤師会、愛知県市長会、愛知県町村会、54市町村、11一部事務組合、愛知県

プラスチックごみゼロへの取組

消費者

- ごみは持ち帰り、自治体の回収ルールに従い処分する
- 散乱しないよう、ごみ出しを工夫する
- マイバッグや容器を持参し、レジ袋などを使用しない
- ● 使い捨て（ワンウェイ）でない、繰り返し使える製品（マイボトルなど）を使用する
- ● 詰替え製品やプラ代替製品を選択して購入する
- ● プラごみ削減に取り組んでいる店舗や事業者を利用する

など

- 捨てない!
- 減らそう!
- 変(替)えよう!

事業者

- ● 詰替え製品やプラ代替製品を開発・提供する
- ● 包装等資材（容器、ストロー）の代替や量り売りなど、食品販売時のプラ製品使用を削減する
- ● 簡易包装や紙袋の使用など、物販時のプラ製品使用を削減する
- ● マイバッグや持参容器の使用を優遇するなど、消費者の取組を支援する
- 風や劣化により散乱しないよう、使用済み等のプラ製品を屋外に放置しない
- ● 製品への表示や店舗での案内、回収ボックスの設置など、消費者における適正処分を促進する

など

共通の取組

- ● ● 3Rプラス1（リデュース、リユース、リサイクル+リフューズ）を徹底する
- ● ● ごみ拾いなど環境活動の実施、参加や呼びかけを行う
- ● ● プラごみ問題や必要な行動について調べる、考える、伝える

行政

- ● ● 県内、世界のプラごみの実態や課題をわかりやすく発信する
- ● 各種行事や施設において、プラごみゼロに向けた取組を率先して実践する
- ● ● プラごみゼロに向けて有効な取組事例などを発信し、広く普及する
- ● プラ代替製品等の開発・利用など、事業者が行う取組を奨励・支援する
- ● ● ごみの分別回収から有効活用まで、プラごみゼロに向けた体制を充実する
- ● ● ごみゼロ社会推進あいち県民会議を始め消費者、事業者との協働を拡充する

など

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



消費者、事業者、行政が協働して、プラスチックごみゼロに向けてこれらの取組を着実に実施し、SDGsの達成を目指します。

「環境首都あいち」を支える人づくりを推進します

予算額 70,511千円

と り ま と め
 環 境 局 環 境 政 策 部
 環 境 活 動 推 進 課
 環 境 学 習 グ ル ー プ 内 線 3027・3028
 (タ イ ム イ ン) 052-954-6208

「環境首都あいち」の実現に向け、多様な主体との連携・協働により各世代に応じた環境学習を実施し、持続可能な未来のあいちの担い手を育成する「人づくり」を地域全体で推進します。

【未就学児童】

インタープリター自然体感推進事業

12,935千円

- ・ もりの学舎での自然体感プログラムの提供や、幼稚園や環境学習施設での自然体験普及のための指導者研修の実施
- ・ もりの学舎ようちえん
- ・ 一日もりの学舎ようちえん
- ・ 森の伝道師派遣
- ・ 保育士・施設職員への研修

【小中学生、中高校・シニア】

環境学習等行動計画推進事業

33,153千円

- 「あいち環境学習プラザ」等において、施設の特徴（体験型展示やZEB施設の見学）を生かした環境学習の実施
- ・ 小学校等の社会見学に対応した環境学習
- ・ あいちecoティーチャーによる環境学習講座
- ・ もりの学舎キッズクラブ

あいち環境学習プラザの概要

開設日：2020年4月1月（予定）
 場所：環境調査センター1階
 （東大手庁舎から移転）
 開館日時：月～金 9時～17時

【高校生】

高校生環境学習推進事業

6,554千円

- 「あいちの未来クリエイト部」による地域の環境についての調査・研究や、研究成果の普及・発信
- ・ 専門家等と連携した調査・研究
- ・ 参加校による活動報告会の開催
- ・ 県民向け普及啓発資料の作成

【大学生】

持続可能な未来のあいちの担い手育成事業

10,757千円

- 「かがやけ☆あいちサステイナブル研究所」により、企業と連携して行う、次世代の担い手となる環境リーダーの育成
- ・ 企業での研究活動
- ・ 成果発表会の開催
- ・ 研究所活動の国内発信

【社会人】

あいち環境塾実施事業

7,112千円

- 企業・団体・行政など、各分野で活躍する持続可能な地域づくりの環境リーダーの育成
- ・ 人材育成講座、成果発表会の開催
- ・ 体験講座の開催
- ・ 地域実践活動の実施（卒塾生対象）

あいち環境塾



オープン講座

20年後の環境を仲間と一緒に考えよう

「あいち環境塾」は、企業・団体・行政など各分野で活躍する持続可能な地域づくりの環境リーダーを育成することを旨として平成20年度に開講し、来年度13年目を迎えます。

今回、当塾のエッセンスが体験できる無料講座を開催しますので、気軽にご参加ください。

塾生になると

第一線で活躍する研究者等の講師による講義や意見交換、様々な業種の塾生とのディスカッションを通じて、ネットワークが構築できます。

オープン講座プログラム

PROGRAM 1 13:00~13:45 **卒塾生が語る会** 「あいち環境塾」卒塾生の生の声をお届けします。

PROGRAM 2 13:45~14:45 **講演会**

「プラスチック問題」を考える

プラスチックは、その利便性ゆえに生活のすみずみで利用されています。世界全体で年間数百トンを超えるプラスチックごみが海洋へ流出しているとも推計され、地球規模での環境の悪化が懸念されます。問題の解決には、ごみの源であるプラスチック製品の製造、使用、リサイクル・再利用、廃棄にわたる包括的な対応が必要です。「プラスチック問題」の現状と国内外の動きなどをご紹介します。問題への取り組みについて考えます。

講師

東京大学
未来ビジョン研究センター 教授

高村 ゆかり 氏



Profile/学歴 1989年3月京都大学 法学部卒業、1997年3月一橋大学大学院 法学研究科 修士・博士課程を経て、博士号取得。 職歴 2006年4月~2011年3月 龍谷大学・教授(法学部)、2011年4月~2018年9月 名古屋大学大学院・教授(環境学研究科)、2018年10月~2019年3月 東京大学・教授(サステナビリティ学連携研究機構)、2019年4月~現在に至る。 研究分野 国際法、環境法、気候変動(地域温暖化)に関する法政策

PROGRAM 3 14:55~15:55 **卒塾生による地域実践活動成果発表**

PROGRAM 4 15:55~17:00 **参加者によるディスカッション**(希望者のみ)

環境に関するいくつかのテーマについて、対話を楽しみながら気軽に意見交換します。



令和2年 **3月7日** 13:00~17:00

会場 **名古屋商工会議所 3階第5会議室**
名古屋市中区栄2-10-19 地下鉄「伏見駅」5番出口徒歩5分

定員 **50名** (要申込み・先着順) 参加費 **無料**



＼ こんな方のための講座です！ ／

- 環境ビジネスに携わる方
- 環境問題に関心の高い方
- あいち環境塾に興味がある方

＼ 申込方法 ／

令和2年**2月28日**金までに、下記いずれかの方法でお申込みください。
メールの場合は件名を【あいち環境塾オープン講座参加申込み】と明記の上、
記入事項を入力しお申込みください。

※定員となり次第、締め切らせていただきます。

申込受付後、公益財団法人名古屋産業科学研究所から参加証をメール又はFAXで送付します。

Webページ <http://www.nisri.jp/chc/gathering.html>

E-mail kankyojuku@nisri.jp

FAX 052-211-6224

＼ 参加申込書 ／

氏名	ふりがな	電話番号	
		ディスカッション参加希望	有 ・ 無
住所	〒 ※勤務先の場合は、企業名等もご記入ください		
E-mail 又は FAX			

※ご提供いただいた個人情報は、「あいち環境塾」の目的以外には使用しません

問合せ先

公益財団法人名古屋産業科学研究所

TEL (052) 223-6639

E-mail kankyojuku@nisri.jp

見る、聴く、触る、そして考える。
遊びの要素を取り入れた
ユニークなコンテンツがいっぱい!

地球を救うための情報がいっぱい!
パネルをよ〜く見てね!

- 地球温暖化
- 水と空気
- 生物多様性
- ごみと資源

展示

生活の中でできるエコアクションを
遊びながら学ぼう!

**ハンズオン
(体験)**



大画面でキャラクターたちが
地球のSOSを教えてくれるよ!

映像



パネルにあるメーカー「ドクターチャレンジ」を
読み込んでみよう! 楽しいクイズもできるよ!

タブレット



面白いクイズから
難しい問題まで
満載!



その他、多彩な学びを提供!

環境講座

夏・冬・春休みや、学校の社会見学会
に合わせて、参加体験型の環境学習講座
を実施しています。



センター業務・ZEB施設見学

学校の社会見学会では環境調査センター
の業務フロアを見学できます。
また、様々な新工ネ・省エネ技術を採用
したゼロ・エネルギー・ビルディング
(ZEB)も見学することができます。



いろいろな環境技術を
見学できるよ!



外観図

愛知県環境調査センター
あいち環境学習プラザのご案内

- 開館日：月曜日から金曜日
(土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休館)
- 開館時間：午前9時から午後5時まで
- アクセス：
 - 【地下鉄名城線】
 - 志賀本通駅4番出口から徒歩15分
 - 【地下鉄上飯田線】
 - 上飯田駅3番出口から徒歩6分
- 場所：〒462-0032 名古屋市北区江町字流7-6
- 問合せ：愛知県環境局 環境政策部 環境政策課
電話：052-954-6210
FAX：052-954-6914



4月以降は新たに、あいち環境学習プラザの電話番号となります。

※あいち環境学習プラザの詳細については
「あいち環境学習情報ライブラリー」Webページでご案内しています。
<http://kankyo-gakushu-plaza.pref.aichi.jp/plaza/>

(このパンフレットは再生紙を使用しています。)

2020年4月オープン

入館
無料

環境を守る、地球ドクターになろう!

あいち
環境
学習
プラザ



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

愛知県は「SDGs未来都市」として、
SDGsの取組を推進しています。



愛知県環境調査センター

みんなの住むこの星に
危機が迫っている！
地球を守るキャラクターたちと
いっしょに
「環境」を学ぼう！



みんなを
地球ドクターに導く
ドクターE(アース)

あいち環境学習プラザで 世界、愛知、日常から 地球の環境を学ぼう！



水資源を守る
クリア・ブルー

エネルギー資源を守る
カール・オレンジ

ボクたちがナビゲートするよ！

再生資源を守る
リフレッジュ・ホワイト



生物資源を守る
スマイル・グリーン



タブレット
持ってGO!



学習エリアは4つのエリアで構成。

タブレットを使って、いろいろ学び、環境を守る「地球ドクター」を目指そう。

タブレットは小学3年生以上の使用を推奨しています。

SDGs
(持続可能な開発目標)
も学べる!!

インフォメーション・エリア



愛知県環境調査センターや、
あいち環境学習プラザについて紹介しているよ。

このまま環境変化が
進むと大変なことに
なるんだね



「世界から学ぶ」エリア



地球を悩ます環境問題。今、世界で起こっている
様々な環境問題の原因と影響を考えてみよう。

この近くに
問題が隠されて
いるんだよね



うーん、
この問題
おもしろいわ!

「愛知から学ぶ」エリア



地球は地域の集合体。地球を守るためには地域の
行動が大切。みんなの住んでる愛知県の取組を
学んでみよう。ここでは、SDGsの17のゴールも学
ぶことができるよ。

やったー!
地球ドクターに
なれたよ!



「日常から学ぶ」エリア



日常生活でできるエコアクションはいっぱい。
家で、学校で、家族と、友だちと、地球を笑顔に
するための行動を始めよう。

水の調子も
できるんだ!

へー、ここでは
環境にやさしい技術が
使われているんだ!



SDGs 未来都市あいちを推進します

予算額 45,702千円

と り ま と め
環境局環境政策部環境政策課
企画・広報グループ
内線 3015・3019
ダイヤル)052-954-6210

本県は、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い地域として、2019年度に国から「SDGs 未来都市」に選定され、「愛知県SDGs 未来都市計画」を策定しました。

SDGsの実現に向けて、SDGs 推進フェアの開催など一層の普及啓発を行うとともに、環境面からの取組を推進することにより、SDGs 未来都市あいちを推進します。

1 SDGs 推進フェアの開催等 23,314千円（新規）

◆SDGs 推進フェアの開催（環境局）

（1）SDGs 推進フェアの概要

企業・大学・NPO・国際機関などと協働して実行委員会を組織し、多様な主体間の連携・ネットワーク化の促進などを目的としたイベントを開催します。

・時 期：2020年8月21日（金）・22日（土）

・会 場：愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」

（2）SDGs 推進フェアへの出展

本県の取組を広く発信するため、本フェアに出展し、「SDGs 人材の育成」をテーマとした取組発表等を行います。

◆愛知県主催の各種イベントの併催

SDGs 推進フェアにおいて各種イベントを併催します。

- ・生物多様性に関する多世代フォーラム（環境局）
- ・水素シンポジウム（経済産業局）
- ・スーパージェイ・スマートシティフォーラム（政策企画局）

2 SDGs 冊子等の作成（政策企画局） 3,986千円

◆中学生向けSDGs 冊子の作成

次代を担う中学生に、SDGsについて意識しながら行動する重要性を学んでもらうための冊子を作成します。

◆SDGs に関するWebページの作成

SDGsの解説や、本県を始め、県内企業等の取組、県内のSDGs イベントなどの情報を集約したWebページを作成し、県内の取組を広くPRします。

3 あいち生物多様性戦略の推進（環境局）18,402千円

◆生物多様性保全の促進

SDGsの理念を踏まえ、ユースによる保全活動や情報発信、NPOと企業とのマッチング等により、多様な主体の連携による生態系保全活動を促進します。

◆新たな生物多様性戦略の策定

生態系ネットワークの形成など、本県のこれまでの取組成果と課題を検証し、SDGsの理念を踏まえ、2030年に向けた生物多様性保全の新たな戦略を策定します。



日本最大級の SDGs 推進フェア

SDGs AICHI EXPO 2020

in AICHI SKY EXPO

2020年8月21日(金)・22日(土)開催予定

愛知県における SDGs パートナーシップの構築を目指して



「SDGs (Sustainable Development Goals)」とは、2015年に国連サミットにおいて採択され、国連加盟 193 カ国が 2030 年までの達成を目指す「持続可能な開発目標」です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

愛知県は、2019年7月に国から SDGs に大きく貢献する可能性を持った地域として「SDGs 未来都市」に選定され、愛知県の企業、大学、NPO、市町村などが様々な取組を始めつつあります。

SDGs の 17 のゴールのうち、特に重要な意味を持つものが GOAL17:「パートナーシップで目標を達成しよう」であり、個の力を集結させ、愛知県全体で強いパートナーシップを構築していくとは、SDGs 達成に向けた大きな一歩になります。

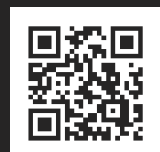
そこで、2020年8月、様々な主体と連携協力し、世界にひらけた国内最大級の展示場「Aichi Sky Expo」において大規模な SDGs 推進イベントを開催する運びとなりました。企業、大学、NPO、市町村などの多様な皆様にご参加いただき、SDGs 達成に向けた取組を共有し、県民の皆様を含めたパートナーシップ構築の機会にさせていただきたいと考えています。

開催概要

開催期間 : 2020年8月21日(金)・22日(土)
 会場 : Aichi Sky EXPO (愛知県国際展示場) 展示ホール A・会議室 L3-6・L1
 主催 : 一般社団法人 中部 SDGs 推進センター
 連携協力 : 愛知県
 国連地域開発センター (UNCRD) 愛知学長懇話会 SDGs 企画委員会
 独立行政法人 国際協力機構 (JICA 中部) NPO 法人 愛知環境カウンセラー協会
 中部 ESD 拠点協議会 環境パートナーシップ・CLUB (EPOC)

現段階で出展にご興味のある方やご質問などがある方は、右記 QR コードより「一次エントリー」をお願いいたします。主催者事務局よりご連絡いたします。

※一次エントリーはご出展の正式お申込ではありませんので、お気軽にエントリーして下さい。



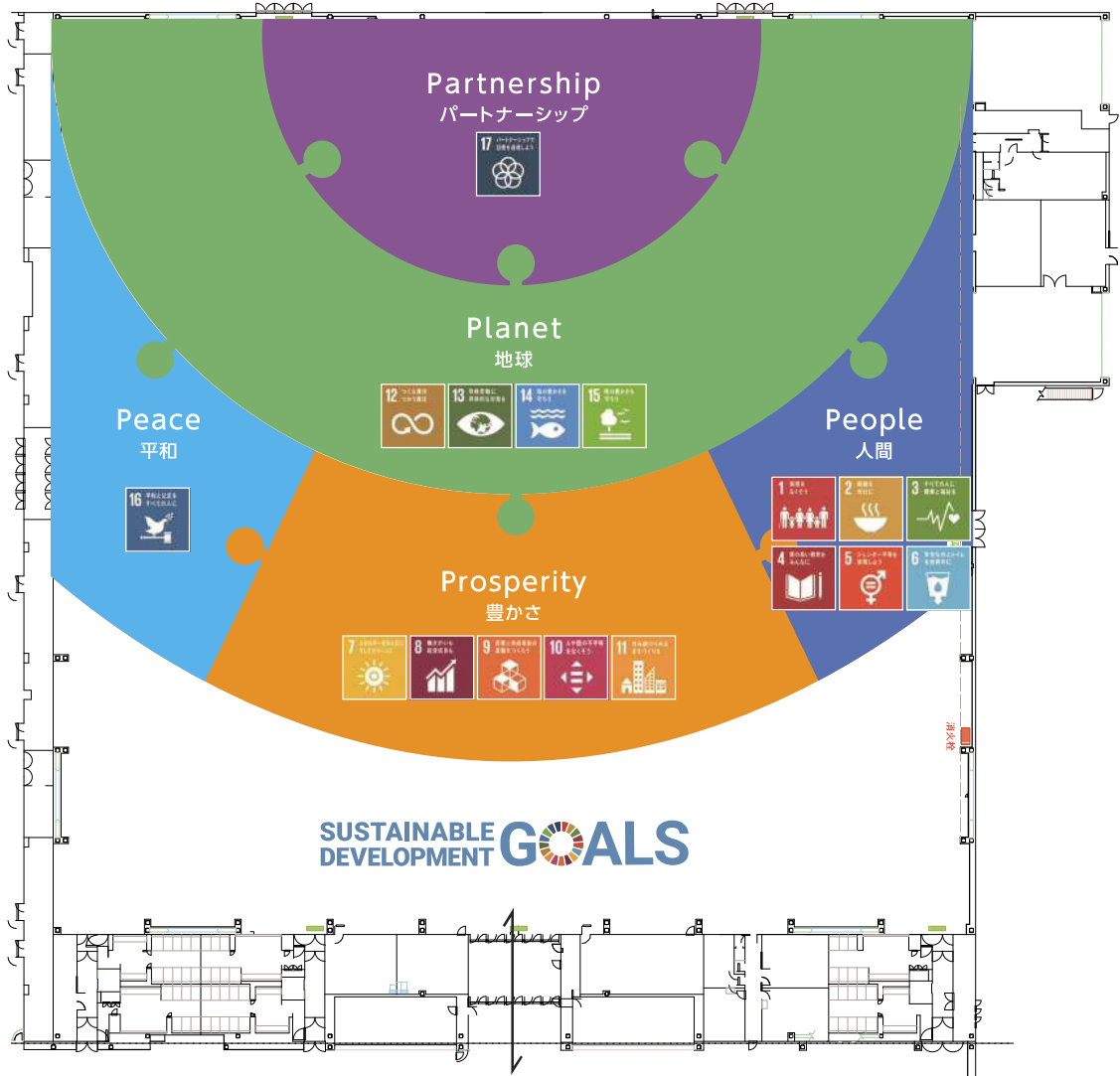
お問合せ

一般社団法人中部 SDGs 推進センター SDGs AICHI EXPO 2020 事務局 (株式会社新東通信内)
 MAIL : info@sdgs-aichi.com

開催方針

出展者全体で SDGs の全てのゴールに関係し、
SDGs に沿った運営を行うことで、世界に発信できるリードモデルとする。

[会場イメージ図]



現段階で出展にご興味のある方やご質問などがある方は、右記 QR コードより「一次エントリー」をお願いいたします。主催者事務局よりご連絡いたします。

※一次エントリーはご出展の正式お申込ではありませんので、お気軽にエントリーして下さい。



お問合せ

一般社団法人中部 SDGs 推進センター SDGs AICHI EXPO 2020 事務局 (株式会社新東通信内)
MAIL : info@sdgs-aichi.com